

2015年10月吉日

720ml Rびんをご使用の事業者のみなさまへ

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク
運営委員長 須田春海
副運営委員長 中井八千代

720mlRびんご回答の報告と追加質問のお願い

この度は、わたくしどもの突然のお願いにも関わらず、ご返信頂きましてありがとうございました。お送りさせていただいた中には「原発立入禁止エリア」ということで返信された文書もございましたが、最終的に23社の方からご回答をいただくことができました。あらためまして感謝申し上げます。

■皆様からご回答いただきました内容は、概ね以下のとおりです。

- 年間使用本数は、社により幅がありますが、数千本～150万本/社程度。
- 再使用本数は、0～40万本/社程度。
- 再使用比率は、0～60%程度(平均39.4%)
⇒平均は39.4%でしたので、比較的再使用比率の高い事業者からご回答いただいたと推察されます。
⇒本数は少ないので除外しましたが、一部には再使用比率100%の事業者もありました。
- 再使用の割合が低い主な理由は、以下のとおりです。
⇒納入業者が洗いびんを扱っていない(購入ルートがない)。
⇒洗いびんの供給が少ない(回収数が少ない)。
⇒びんに傷が多い・びん口が欠けやすい(不良びんが多い・効率が落ちる・クレームになりやすい)。
- 再使用の割合を高めるための改善策の主な事例は以下のとおりです。
⇒法律で義務付ける。
⇒消費者へPRや店頭回収などによるシステムを構築する(回収用のP箱を用意する)。
⇒びん口を一升びんと同じように丈夫にする。

このような皆様からのご回答により、意図的に使わないのではなく、回収率が低いため使いたくても使えない事情や、びんに傷が多く扱いにくい事情があることがわかりました。これらを踏まえつつ、720ml Rびん普及のための観点から更に追加の質問させて頂きたく、ご多用中、誠に恐縮ではございますが、別紙Fax文書にてご回答戴けますよう、宜しくお願い致します。

【追加質問事項】

1. 一升瓶やビールびんなどは消費者もよく知っていますが、「720mlRびんがリユースびんである」ことはほとんど知られていません。御社では消費者に720mlRびんの回収をどのように呼び掛けていますか。
2. 一般的なリユースびんは、再使用の強度を保持するため、ガラスびんの肉厚が厚く作られており、購入価格も高くなっています。そのようなリユースびんを再使用しないのでは、環境負荷も増大させてしまいます。むしろ、再使用しないのであれば、軽くて安いワンウェイびんにしたほうがよいと思いませんか。
3. いただいたご改善案の中に、「びん口を一升瓶と同じように丈夫にする」とありました。この改善について、どう思われますか。また、御社では、そのびんを使用可能ですか。

以上

////////////////////////////////////